

10.九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (九州)		*	*	*
		商店街（代表者）	販売量の動き	・秋物販売で、客のまとめ買いが少しずつ見られるようになってきた。
		一般小売店〔精肉〕（店員）	単価の動き	・来客数は例年と変わらないが、客単価が好調であった。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・前店を解体し、隣に移動し、9月に店の形が出来上がり販売を開始した。3か月前は前店のビルを解体していたため、全く販売ができなかった。また、解体中に店の設備を誤廃棄されてしまい、切り花が置けない状況で全く仕事ができなかった。それに比べると9月は良かった。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・台風もなく天候に恵まれ、熊本地震復興工事などがあるためか、景気は良い。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・台風の影響を差し引くと、客の購買が増えている。特に食料品、酒類が伸びている。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・前月に引き続き好天に恵まれ、飲料や氷菓の売上が前年比10%増で売上全体をけん引している。客数は前月を下回っているが、客単価が大幅に伸びている。景気回復の兆しが地方にも出始めている。
		高級レストラン（支配人）	単価の動き	・比較的高額なコース料理、ワインの販売量が増えた。
		都市型ホテル（販売担当）	販売量の動き	・宴席の入り具合や客単価が上がっている。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・稼働率が3か月前より2ポイント上昇した。単価も500円以上上回っている。先の予約状況も良く、11月までは好調が続く。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・10月以降の予約数が国内、海外共に前年同月比を超えてきている。ただ、海外旅行への不安は北朝鮮情勢が更に悪化することも予測されるため、不透明な部分もある。
		タクシー運転手	お客様の様子	・当地における現在の景気動向は順調である。10月に総選挙があり、その後景気が停滞するのではないかと危惧している。
		タクシー運転手	来客数の動き	・9月に入って過ごしやすい季節になり、地元客のタクシー利用が減っている。ただ、新しく中・小規模のホテルの開業が増加し、それに伴い観光客も前年比でかなり増えておりタクシー利用も増えている。夜の繁華街は前年並みである。
		通信会社（業務担当）	販売量の動き	・業界内の景気が後退気味ということもあり、競合他社が業界から退く事態が発生している。そのため、客が当社へ流れてきている。業界自体は今後も景気の後退が考えられるため、当社の一時的な景気回復は業界全体の話ではない。
		観光名所（従業員）	来客数の動き	・台風が3連休の中日に来て、例年であれば町内自体が渋滞するが、それがなかった。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・週末に催事を行うことで少しずつ客が増えている。ただ、若者のゴルフ離れを懸念している。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・来客数は増えたが、購買につながらないのが現状である。	
	商店街（代表者）	お客様の様子	・朝晩涼しくなってきたが、日中はまだ暑い日が続いている。当地の商店街の客は6割が高齢者のため客の様子がつかめない。	
	商店街（代表者）	お客様の様子	・夏場は高温により来客数が減少したが、今月に入って気候が安定しても相変わらず購買意欲がない。天候の影響ではなく、将来に対する不安からの慎重な購買意欲は変わらない。	
	一般小売店〔茶〕（販売・事務）	来客数の動き	・例年この時期から日本茶の販売量が増えていく。自宅用の購入がほとんどだが、野菜の高騰から節約できるところは節約するという傾向があり、日本茶は低価格での販売が多い。このところ高級茶は贈答品以外では販売していない。	

百貨店（営業担当）	来客数の動き	・今月中旬は台風の報道や交通機関の運行停止により週末の来客数が激減したが、通過後の月、火曜は反発し、催事も盛況となった。カード催事で店頭効果を発揮し、台風の影響以上に、購買客数、客単価、売上伸長率は好調であった。外国船入港による外国人観光客の需要も続いている。ただ、台風一過の涼しさがなく高温多湿の気候が継続し、季節商材は伸びない。一方、衣替えの紳士・婦人衣料及び雑貨・家電・調理用品など普段使いの自家需要商品や、嗜好性の高い輸入雑貨・貴金属・美術商品は依然好調が続いている。
百貨店（業務担当）	お客様の様子	・台風などにより、天候の影響を受けたものの、必要な物かどうか慎重に考える客が多い。ただ効能など商品の価値が伝わると、値段を聞かれることもなく購入することが多い。
百貨店（店舗事業計画部）	お客様の様子	・復調傾向にある外国人観光客の下支えや、地元野球球団の優勝により売上は前年以上を維持しているが、夏休み明けの消費は慎重で、時計や高級品の動きが鈍い。
百貨店（営業統括）	来客数の動き	・7月の九州北部豪雨の影響は落ち着いたが、以前との比較では、ほぼ横ばいである。前年8～9月はオリンピックや猛暑で来客数が大きく落ち込んだことを踏まえると反動の増額が十分ではない。ただし9月は気温が平年並みに下がり、季節商材は順調に動いている。
スーパー（店長）	単価の動き	・平均客単価が下がっている。
スーパー（店長）	来客数の動き	・売上状況は依然厳しい。特に来客数が落ちている店舗が目立つ。店舗によってはかろうじて単価でカバーできているが、全体としては厳しい。
スーパー（店長）	販売量の動き	・今月は鮮魚と総菜でかなり苦戦した。食中毒問題で総菜が前年比90%、鮮魚もマグロが相変わらず売れず、前年比75%と、共に苦戦している。青果は相場が前年ほど高くないので前年比98%で推移している。
スーパー（総務担当）	来客数の動き	・生鮮部門の一部に回復傾向が見られるものの、全体的には来客数の減少が続いている。
スーパー（経理担当）	販売量の動き	・暑さがかなり残ったこともあり、菓子やパン類の売上が不調であった。野菜は土物については今年豊作で廉価、サラダ系は大雨・曇天で高騰している。
スーパー（統括者）	単価の動き	・競合他社が値下げした商品については、当社も値下げしないと売上が悪化していく。仕入単価が下がらない状態での値下げ競争となっており、売上、利益については回復傾向とはいえない。
コンビニ（経営者）	販売量の動き	・ここ2か月、わずかに前年を下回った。1～2か月で即断できるものではないが少し悪くなっている。天候も悪くなった要因のひとつで、8～9月は暑い日が多くなかったため、飲料関係の売上が落ちた。
コンビニ（エリア担当・店長）	販売量の動き	・レジ周りのプラス1品を購入する客が相変わらず少ない。季節商材のホットスナックについては声を掛けて売ろうとするがまだ効果は表れない。
衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・9月は晴天日が少なく来客がほとんどなかった。
衣料品専門店（店員）	お客様の様子	・地元野球球団の優勝セールがあったが、全く盛り上がりなかった。通常、婚礼の需要が多い時期だが今年は少ない。新調しない人が多いようである。
衣料品専門店（総務担当）	来客数の動き	・婦人衣料関連の恒常的な不況や、同一商圈内に新しい商業施設ができたことにより、来客数が減っている。
衣料品専門店（取締役）	お客様の様子	・今年は秋が早くきたため、季節商材が早く出た。物自体は動いているが景気とは全く関係ない。
家電量販店（総務担当）	来客数の動き	・季節商材がないこの時期は、集客にも非常に苦労する。
家電量販店（広報・IR担当）	販売量の動き	・大型商品で若干単価が下がっている。白物商品は前年並みで好調である。液晶テレビも一時期の落ち込みから回復傾向にある。
乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・今年度になり新車販売台数が毎月前年を上回っている。9月は前年実績を上回り、計画も超える見込みである。
その他専門店【コーヒー豆】（経営者）	来客数の動き	・前年比で来客数がほぼ横ばいである。売上もほぼ前年と変わらない。客の動きは良いが販売単価が下がっている。

その他専門店 〔ガソリンスタ ンド〕(統括)	販売量の動き	・燃料油の小売価格はやや上げ基調である。9月の3連休は観光客の増加を見込んでいたが、台風接近などもあり、期待どおりではなかった。
その他小売の動 向を把握できる 者〔ショッピング センター〕 (支配人)	販売量の動き	・施設としては、前年大ヒットをして社会現象にもなった映画の影響もあり、前年比で集客に苦戦している。客の消費動向に大きな変化はないが、前年比での来客数の減少が痛手となっている。特に来客数と売上が比例する飲食店の減少が大きい。
その他小売の動 向を把握できる 者〔ショッピング センター〕 (統括者)	販売量の動き	・前年の熊本地震の反動もなくなり、売上・来客数共に前年並みで推移している。
高級レストラン (経営者)	来客数の動き	・天候が影響しているのか、客の出足が悪く来客数が伸びない。
一般レストラン (経営者)	単価の動き	・来客数はさほど変わりはないが、注文内容がこれまでよりも安価なメニューになってきており客単価は下がっている。
都市型ホテル (スタッフ)	単価の動き	・中国や東南アジアからの外国人観光客は相変わらず好調だが、中国の日本旅行渡航制限策の先行きが懸念される。
都市型ホテル (副支配人)	単価の動き	・団体及び個人の客単価が安定している。ただし日曜宿泊は減っている。
タクシー運転手	お客様の様子	・今月は人の動きが良いようだったが、昼夜共にタクシー利用は伸びなかった。
タクシー運転手	お客様の様子	・今月は買物に出掛ける客が多く、荷物を抱えてタクシーを利用する客が日中は多かった。ただ、国会が解散してからは夜の動きがさっぱりである。さえない展開である。
通信会社(営業 担当)	それ以外	・大きな悪化要因がなく、むしろ消費・観光客増につながる話題が多い。
通信会社(企画 担当)	販売量の動き	・商材に関する客の関心が低い。魅力不足である。
競輪場(職員)	販売量の動き	・開催ごとの発売額に顕著な変化がない。
美容室(経営 者)	お客様の様子	・熊本地震の影響で移転を余儀なくされたが、新しい店舗への準備をしているところである。客の対応をあまりしていないが周りの話だと景気は下向きで良い話は聞かない。
美容室(経営 者)	販売量の動き	・業界的にはだんだん良くなるはずであるが、景気回復していないのが現状である。販売量が増えていくようなことを計画している。新しい景気対策をお願いしたい。
美容室(店長)	お客様の様子	・世間では景気が良くなっているようだが、身近ではあまり影響はなく、景気が良くなっている感じはない。
音楽教室(管理 担当)	来客数の動き	・秋の生徒募集の期間になるので来客数が増える。
その他サービ スの動向を把握 できる者〔介護 サービス〕(管 理担当)	お客様の様子	・台風の影響により予約の取消しが発生したものの、一定の仕事量は確保できており、業界環境も大きな変動がない。
住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・来客の月々の返済予算がこちらのものより安い。予算が足りない客がローンを増やす流れになっており、あまり景気は良くなっていない。
住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・来客数はほぼ変わっていないが、受注状況が若干良い。建築条件付き土地の販売についても地域によっては即完売になるところも出てきている。
住宅販売会社 (代表)	販売量の動き	・基本的には良くも悪くもない。来客数が減少している。実際にはうまく受注できているところとそうでないところの2極化が更に進んできている。
商店街(代表 者)	販売量の動き	・単価も販売量も下がっている。購買意欲が感じられない。高齢者は終活に向かっており購買を差し控えている。来店はするが購入に至らない。
一般小売店〔青 果〕(店長)	お客様の様子	・彼岸の4～5日前まで当地もかなり暑く、雨の影響で人の出足も悪く、県外の野菜の入荷が不安定で、野菜の高騰もあり、悪条件ばかりで厳しい状況であった。
一般小売店〔鮮 魚〕(店員)	お客様の様子	・魚屋が皆、売れない、客が来ないと言っている。少量多品種を心掛けたり、こまめに声を掛けたり、いろいろ努力はしているが、なかなか売上が伸びない。

	百貨店（総務担当）	販売量の動き	・不振が続く衣料品が秋に入りやや回復感はあるものの飲食、特に宴会対応の店舗が周辺の店舗増加による競争激化により大変厳しい状況となっている。特にアルバイト等人手不足が深刻で、売上減と経費増といった二重苦の状況である。
	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・9月の中旬以降気温も下がってきて、季節商材の出だしが前年比で良い状態である。紳士時計などの高額品の動きが良い。また、食品が持ち直してきており、催事は好調に推移している。ただ、地政学的な危険性もあるので予断を許さない状況である。
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・天候要因によるところが大きい、動員が減少している。
	百貨店（売場担当）	競争相手の様子	・どちらともいえないという景況感だが、3か月前に比べると悪い。
	百貨店（売場担当）	それ以外	・立て続けに豪雨や台風による被害が出ているため、接近中だけでなく、その後も心理的に購買意欲が低い。
	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・夏物が終わって冬物に替わる時期で、客の出足が鈍い。
	ドラッグストア（部長）	販売量の動き	・台風の影響により接近時の売上が落ち込み、その後も落ち込んだ分の売上が回復していない。
	その他小売の動向を把握できる者〔土産卸売〕（従業員）	販売量の動き	・書き入れ時の9月の3連休が台風の影響で、関東、関西からの飛行機が欠航したため、前年比で売上が落ちた。
	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・今月の景気はかなり悪かった。前月、先々月と比べても悪く、前年比も下回っている。
	観光型ホテル（専務）	お客様の様子	・総選挙があるときは客の動きが悪くなる。特に団体の動きが非常に悪い。
	旅行代理店（企画）	お客様の様子	・客の申込が3か月前に比べて鈍化している。
	設計事務所（所長）	それ以外	・被災後の復旧工事の動きは活発だが、被災者の生活再建が先行しており、建築関連の動きはまだ鈍い。
	x 商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街は9月は敬老月間で高齢者の来街が例年多いが、台風による大雨の影響で来街者は大変少なかった。販売も不振である。
	x 乗用車販売店（販売担当）	来客数の動き	・前月に引き続き、来客数が減り続けている。
企業 動向 関連 (九州)	-	-	-
	農林水産業（従業員）	受注量や販売量の動き	・11月にかけて市況は高くなる時期である。物が出ればお金になる時期となる。
	食品品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年比で商品の引き合いは少ないが、生産量・販売量共に比較的順調に推移している。
	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・春先から夏にかけて動きが上向いている。8～9月の実績が上昇している。
	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・価格は相変わらず厳しいものの、金属部品加工の受注量は増加傾向である。
	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・主な取引先である半導体製造装置メーカーからの受注が下期6か月においても好調である。
	電気機械器具製造業（取締役）	受注量や販売量の動き	・営業をかければ仕事が出てくる状況で、取引先も見積を出す注文が来るので、見積を出すのもためらわれるとのコメントもあった。
	建設業（社員）	受注量や販売量の動き	・手持ち工事が多く入札を辞退したり、一般競争入札に参加しない業者が出てきている。下請業者がいなかったため入札を回避する業者もいる。年度末に向けてもっと受注しないとならない業者も多いが、今は仕事内容を吟味している業者も増えてきている。
	金融業（従業員）	取引先の様子	・九州北部豪雨により観光面で一部で宿泊客が減少している。一方、住宅販売が高水準で推移しているほか、新車や家電の販売も増加している。
	金融業（営業）	取引先の様子	・製造業、建設業など幅広い業種で数か月先までの受注を確保している。
	その他サービス業〔物品リース〕（支社長）	取引先の様子	・業種問わず、比較的好決算の先が多い。節税関連の需要が高く、即時償却目的の投資案件が増加している。熊本地震の復興需要も徐々に表面化し、年末に向けて好調である。

	農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ 8月は台風の影響が大きかったが、9月は台風の上陸はあったものの週末であったため一般消費に大きな影響はなかった。毎年9月はお盆需要の反動で消費が落ち込むが、今年はその反動が少なく計画以上の売上が期待できる。
	農林水産業（営業）	取引先の様子	・ 取引先の販売状況は変わらず好調である。
	繊維工業（営業担当）	それ以外	・ 仕事の受注は多いが、今月は段ボール箱の値上げと最低賃金の22円という大幅な値上げが非常に痛い。
	家具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・ 今月は受注額、受注量共に前年比で95～98%程度である。小売は前年比で87%程度だが、コントラクト向け家具はホテル需要により前年比107%となった。全体的には微減といったところである。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ 9月に入っていくらか受注量が増えたが、産地として全体ではまだ落ち込んでいる。
	金属製品製造業（事業統括）	受注価格や販売価格の動き	・ 特に例年との違いは見受けられない。
	輸送用機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・ 生産量が計画に対して上乘せで推移し安定している。
	建設業（経営者）	取引先の様子	・ 客の流れ、考え、行動は3か月前と変わっていない。
	輸送業（従業員）	取引先の様子	・ 現場から営業に異動になり今まで以上に取引先である荷主と話すことが多くなった。そのなかで、当地に限っては物流の拠点として位置付ける荷主が多くなっており、倉庫の引き合いが多い。しかし、倉庫が不足している状態で全体として盛り上がるまでにはなっていない。荷主もBCP含めいろいろと見直しを行っている。
	輸送業（総務担当）	取引先の様子	・ 荷動き自体に大きな変化はない。依然運送会社より値上げ要請が後を絶たないが、荷主に値上げを都度要請しており、交渉が続いている。
	金融業（従業員）	取引先の様子	・ 企業活動については、限定的ではあるが自動車販売がかなり好調である。ただ、全体でみると景気はそう悪くもないし良くもない。ボーナスも出ておりあまり大きな動きはない。
	金融業（調査担当）	取引先の様子	・ 取引先の需資に変化はない。
	経営コンサルタント（社員）	競争相手の様子	・ 同業者の集まりがあったが、どこも似たような状況である。
	経営コンサルタント（代表取締役）	取引先の様子	・ 取引先に最近の業況について聞いてみたが、多くの企業で大きな変化がないようである。
	その他製造業 [産業廃物処理業]	受注価格や販売価格の動き	・ 売相場の価格は高値だが、なんとか為替で持ち堪えているだけで実売価格としては一定もしくは下げに動いている。仕入れは市場価格がベースになるので利幅が減少しており、物量も少ないため、良いとはいえない。
	経営コンサルタント（社員）	取引先の様子	・ 安価の商品は動きが良いが、高級品は売れていない。広告を出しても低価格商品しか売れていない。
	経営コンサルタント（代表取締役）	取引先の様子	・ 9月には当地で大きな祭りがあるが台風で流れてしまったり、観光も含め少し厳しかったようだ。
	その他サービス業 [コンサルタント]（代表取締役）	取引先の様子	・ 九州北部豪雨により、被災した自治体が今年度策定を予定していた調査や行政計画策定業務が、中止となり、発注自体が行われなくなった。そのため、これらの業務について営業していたコンサルタントは、業務を請けることができなくなった。
	x	-	-
雇用 関連 (九州)	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・ 派遣や人材紹介の求人数が共に増加している。新規求人の賃金上昇も続いている。そのため、既存の派遣社員の時給昇給ができていない企業からの退職者が増加している。人員の流動化が明らかに進んでいる。また、下期需要に向け建設関連業からの求人依頼が増加している。

	人材派遣会社 (社員)	求職者数の動き	・前月に引き続き、求人依頼が増えている。特に自社募集で全く反応がないとの理由で、依頼してくる企業が多い。また、面接を受けていて結果待ちの登録スタッフが多く、結果的に直接雇用で決まる人が多い。登録スタッフの求職活動も盛んになっているのに加え、面接結果もすぐ出ており、仕事が決まるのも早い。
	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・企業からの派遣社員の求人数は増加傾向だが求職者の動きが鈍い。地域、職種を問わず企業からの問い合わせが多い状況である。
	民間職業紹介機 関(社員)	求人数の動き	・事務職の派遣依頼は微増である。
	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・特に目立った求人採用の動きはない。
	人材派遣会社 (社員)	それ以外	・影響力のある人材の依頼が増えている。企業広告や催事の予算を抑えて直接訴求できる企画の要望がある。
	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・売手市場が続いており、企業からは引き続き依頼がきている。
	新聞社[求人広 告](担当者)	それ以外	・猛暑も一息つき、観光や行楽が活発になるが、外国人観光客のかつての爆買いはなく、安くてそこそこの物を選ぶようだ。
	職業安定所(所 長)	求人数の動き	・募集を行っても、思うように人が集まらず、結果として募集が続いている。
	職業安定所(職 員)	雇用形態の様子	・雇用形態は、依然として非正規雇用が多く、正社員求人は更新求人が占めている。
	職業安定所(職 員)	採用者数の動き	・当所管内は、派遣会社からの求人が20%弱を占めているが、その中の多くは生産現場やIT関連の業務であり、経験や知識が必要とされることが多い。また、携帯電話やスマートフォンの販売店員の求人も多いが、希望する求職者はほとんどおらず、求人が滞留している。
	職業安定所(職 業紹介)	求人数の動き	・引き続き求人数の増加がみられ、管内の有効求人倍率も高い水準で推移している。
	学校[大学] (就職支援業 務)	求人数の動き	・新卒採用に向けた求人票の受理件数は、前年比で若干減少している。しかし、福祉関係の求人は順調に来ている。
	-	-	-
x	求人情報誌製 作会社(編集者)	求人数の動き	・当社の求人取扱件数が前年比で大幅に落ち込んでいる。